

作品の閲覧

2025-07-24

『いつか王子駅で』

何でも読もう会

書物名	『いつか王子駅で』	開催日	出席者
作者	堀江敏幸	7月24日	4名
＜作品の内容等＞ 主人公の私は時間給講師と翻訳の仕事をしている。住んだ場所が王子駅と尾久駅の近く。 市井の人々が多く登場。正吉さん、居酒屋の女将、精米店の佐竹老主人、古本屋の寛さん、大家の米倉精機の社長兼熟練工、「のりしろ」を残す旋盤工の林さん、大家さんの娘 咲きちゃん、タクシー運転手の阿武隈さん等々。 背景には路面電車の都電荒川線が行ったり来たりする。 主人公が古本屋で買った島村利正の作品が紹介される。その他 馬に因んだ童話『サアカスの馬』、『スーホーの白い馬』そして競馬の話題も登場する（本作品は雑誌「書斎の競馬」に連載された関係）。 ＜皆さんの感想意見＞ ・全体を通して、心和む時間を貰った感じがした。 ・行方知らずになった正吉さんともいつかい王寺駅で会えるだろう。 ・大きな事件は起こらないが東京下町の風景や人々の温かさが伝わってくる作品で、しばし王寺駅周辺に居るような感じになった。 ・主人公が古本屋で購入した島村利正の作品に興味を持った。 ・有名な作家ではないが、確かに島村敏正の『奈良飛鳥園』は印象深い作品だった。ぜひ読んで欲しいと思った。			